闇の中を歩む民は、大いなる光を見
死の陰の地に住む者の上に光が輝いた。（イザヤ９・１）

マリア様、
　あなたは、お告げの時の「はい」以来いただいたすべての恵みを思い出しながら、確信を持ってベツレヘムへの旅を歩いておられます。

　あなたは、私たち自身の召命に対する「はい」を新たにするよう私たちを招いておられます。
　あなたと同様に、私たちも旅の途上にあって、この「シャミナード年」の間にすでに経験したすべてのことを思い起こします：

★　世界中で行われた多くの計画、企画を通じて私たちの創立者シャミナード師の生誕 250 周年を祝うことができた喜び。
★　全マリアニスト家族に対して、また誰よりも特に若者に対して信仰及び希望の新しいメッセージを師からいただいた喜び。

ヨセフ様、
　障害や疑問に妨げられることなく、あなたは聖母マリアと幼子に同伴します。告げられた希望のメッセージを身にまとい、あなたはベツレヘムに進みます。現在、自然災害、武力紛争、あるいは貧困から生じる余りにも多くの困難に直面している人々に同じ希望をお与えください。

謙虚な羊飼いたち、
　神である幼子の平和が最初に告げられたのは、あなたたち、貧しき者でした。そしてすぐ馬小屋に急いで赴き、そこで幼子とその母を見つめました。自由及び生きがいを求めている人々、正義と平和がある世界を望んでいる人々をすべてそこに連れて行ってください。

英知ある博士たち、
　あなた方は、自分の知識に照らされて、星の輝きに従い、新しい道に沿って導かれるままに自分をゆだねました。
　私たちが、謙遜のうちに神の幼子に出会えるように心と魂を開くことを教えてください。

　また、新たな熱意を持って彼を“知らせ、愛させ、仕えさせる”ことができますように、私たちにその知識を得させてください。

　沢山の困難に封じ込まれているこの世にあって
すでに神の幼子が私たちに与えられたのですから
私たちこそが、喜びと希望の種まき手となりましょう。

「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。
今日・・・あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。」（ルカ２・１０－１１）

クリスマス２０１１年　おめでとうございます！

マリアニスト世界家族評議会

2011 年 11 月 4